

校長室 だより

平成22年 7月1日

## 潮 風

広島市立元宇品小学校

梅雨入り宣言があったものの、しばらくは雨が降りませんでした。その間にプール清掃や充水が済み、いよいよ水泳指導が始まりました。時折プールから子どもたちの楽しそうな声が聞こえてきます。

6月下旬に広島市教育委員会の計画訪問が2回ありました。どちらの指導主事も各教室に入り、子どもたちの学習の様子を見て回られました。もちろん担任には、何校時に行くということは伝えてありません。しかし、どの学年も落ち着いて学習に取り組んでおりました。

校長室に戻り、いろいろとお話をうかがう中で

「子どもたちや先生方の表情がとてもおだやかですね。」

「先生方が優しい声かけをされていました。」

「教材提示装置が効果的に活用されていました。」

「どのクラスも落ち着いて一生懸命学習に取り組んでいます。」

「なぜかしら入るとほっとする学校ですね。」

というような嬉しい言葉をいただきました。

子どもたちが健全に育っているのは、保護者の皆様や地域の方々が、しっかりと子どもたちを見守り、育て、関わってくださるからこそで、けして学校だけの力でそうなるものではないということを改めて胸に刻みながら、指導主事の言葉を教職員に伝えました。

今日から7月。今月の下旬には夏季休業（夏休み）が始まります。夏休みといえいろいろと忘れられない思い出が私にもあります。その中には、悲しい思い出も……。

小学校2年生の夏休みのことです。ある日の夕方、町内の有線放送で「小学校2年生の〇〇〇君が行方不明です。心当たりのある方は……。」という放送が流れたのです。私は何回目かの放送でそれが自分の友だちのことだとわかりました。心配ではありましたが、もう夜になりましたし子どもの私にはどうしようもありませんでした。

明るる日、彼は栈橋とそこに繋留してある漁船の間から発見されました。遊びに行っていて栈橋から船に飛び乗ろうとしたときに海に落ちたのかも知れません。とにかく帰らぬ人となってしまったのです。休みが明け、しばらくの間、彼の机に花が飾られていたのを覚えています。このような悲しい出来事は絶対あってはいけません。楽しく充実した夏休みにするためにも、そして元気に9月を迎えるためにも心と体が健康であることが一番です。保護者の皆様をはじめ、周りの大人たちの確かな見守りと言葉かけが、何よりも必要と考えております。